

漁業者と急潮情報についての意見交換をしました

当センターでは、定置網漁業に甚大な被害をもたらすおそれのある「急潮」^{※1}の発生を予測し、漁業者に急潮情報^{※2}を発信しています。また、予測精度の検証のため、毎年府内6ヶ所の定置網漁場において流向・流速や水温の観測データを収集し、これらの結果を漁業者と共有しています。

今年は4~5月に、漁業者に対して当センターが発信している急潮情報の活用状況を聞き取りました。

漁業者からは、昨年、日本に接近した台風6、7号の事例(下図)に対し、「急潮情報を参考にして網を撤去し、破網被害を防ぐことができた」等のコメントをいただきました。今後も、更なる急潮被害削減に向け、予測精度向上のためのデータ収集・解析に引き続き取り組んでいきます。

※1 急潮:流速1ノット(約50cm/秒、下図水色線)を超える流速を急潮と定義。

※2 急潮情報:海況情報を基に急潮の程度や期間を予測して漁業者に発信。

